

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)

【公表番号】特表 2020-508487 (P2020-508487A)  
【公表日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-011  
【出願番号】特願 2019-544848 (P2019-544848)  
【国際特許分類】

G 0 2 B 5/128 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

B 3 2 B 7/023 (2019.01)

【F I】

G 0 2 B 5/128

G 0 2 B 5/22

B 3 2 B 7/023

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 17 日 (2021.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光入射面を有する再帰性反射物品であって、  
再帰性反射層と、  
前記再帰性反射層と比べて前記光入射面のより近くに配置されたコントラスト低減層と  
を含み、  
前記コントラスト低減層が、前記再帰性反射基材の近赤外光再帰反射効率を、50%超  
、低減する、再帰性反射物品。

【請求項 2】

前記コントラスト低減層が、吸収によって前記近赤外再帰反射効率を低下させる、  
請求項 1 に記載の再帰性反射物品。

【請求項 3】

前記コントラスト低減層が、散乱によって前記近赤外再帰反射効率を低下させる、  
請求項 1 に記載の再帰性反射物品。

【請求項 4】

前記コントラスト低減層が、バルク散乱体を含む、請求項 3 に記載の再帰性反射物品。

【請求項 5】

前記コントラスト低減層が、表面散乱体を含む、請求項 3 に記載の再帰性反射物品。

【請求項 6】

前記再帰性反射層がパターン化され、少なくとも第 1 と第 2 のセクションを含み、前記  
再帰反射率が、前記第 1 と第 2 のセクションで異なる、請求項 1 に記載の再帰性反射物品  
。

【請求項 7】

前記コントラスト低減層が、パターン化され、少なくとも第 1 と第 2 のセクションを含  
み、前記第 1 のセクションが近赤外光の 80%超を吸収し、前記第 2 のセクションが近赤  
外光の 80%未満を吸収する、請求項 1 に記載の再帰性反射物品。

**【請求項 8】**

前記コントラスト低減層と比べて前記光入射面のより近くに又は前記光入射面からより離れて配置された可視吸収層を更に含み、前記可視吸収層が、前記可視帯域内の光の少なくとも 80 % を吸収する、請求項 1 に記載の再帰性反射物品。

**【請求項 9】**

前記再帰性反射物品が可撓性を有する、請求項 1 に記載の再帰性反射物品。

**【請求項 10】**

前記再帰性反射物品が、近赤外光により照会したときに空間的に変化するパターンを示す、請求項 1 に記載の再帰性反射物品。